

令和3年 10月13日

令和3年度

第四回 技術英語研修（スピーキング）

報告書

【主催】自然科学研究機構 分子科学研究所(大学連携研究設備ネットワーク)

【開催日】令和3年 9月27日(月)・28日(火)

① 27日 9:00～10:00

② 27日 10:30～11:30

③ 28日 9:00～10:00

④ 28日 10:30～11:30

(各回のプログラムは同じ)

【開催場所】オンライン (Zoom)

【講師】ふた葉プロジェクト (サイエンスコミュニケーター&ライター) 梅村綾子氏

【受講者】大学の技術職員、技術支援員、特任専門員等 各回3名 計12名

【プログラム】

- ・ミニ講座 (15分) ロールプレイで使えるフレーズ
- ・ロールプレイ (40分)

1人が技術職員役、残りが留学生役となり、英語でのやり取りを体験します。

実際に業務で使用している資料(例:担当装置の日本語取説)を使って、その一部の内容を相手に英語で伝える練習をします。

- ・まとめ (5分)

【報告】

第二回で非常に好評であった、1時間の短時間研修を再度企画した。9月末開催と短時間研修の狙いとしては、9月9日・10日に開催された機器・分析技術研究会 in 山口大学でこれまでの英語研修の活動と成果についての発表を行ったためである。技術職員に広く広報を行ない、興味を持った技術職員に参加してもらうためである。実際に今回の新規参加者の多くは、機器・分析技術研究会での発表を聞いての参加となり、広報活動が成功したといえる。

研修については、第二回と同様に、業務内容に近い職員をまとめて、短時間でも相互理解が得られる状況を準備した。英語でのプレゼンテーション内容も、装置説明など実際の業務

に関連するものを題材とし、関連する専門用語をあらかじめ参加者内で共有するなど、限られた時間の中で英語のコミュニケーションに集中できるように、参加者にも事前準備を行ってもらった。

・研修当日について

最初に短い自己紹介と本日の目標を共有し、次のプログラムであるミニ講座に移った。5W1H から1語と参加者の業務と関連する単語から1語を講師が選び、参加者が即興で疑問文づくりを行い、英語で思考する練習を行った。

メインプログラムのロールプレイングでは、説明する技術職員役と、質問する留学生役に分かれ、一人ずつ自分の業務から留学生へ、事前に準備した資料を使って説明を行ない、質疑応答を行った。10分程度のロールプレイングの後、留学生役の参加者に技術職員が説明したかったことを1分程度にまとめて発表してもらい、自分の理解したことを発表する練習を行った。

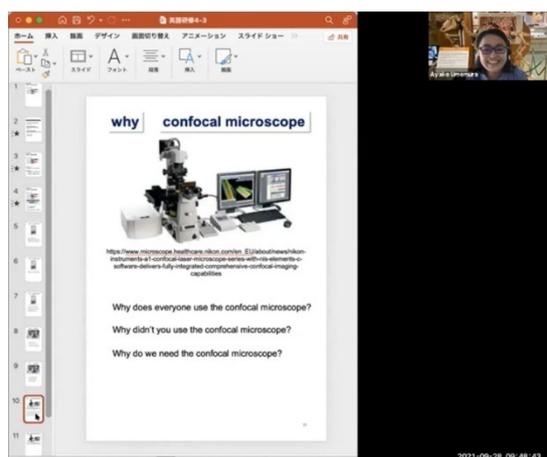


図1 ミニ講座の様子



図2 ロールプレイングの様子

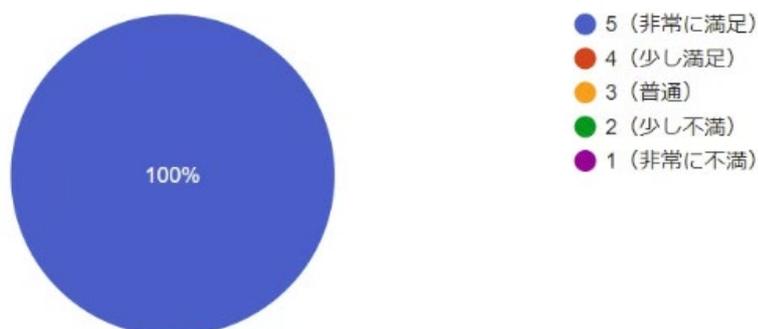
・まとめ

第二回の研修と同様に、最大3名、1時間という短時間での研修を行った。進行をスムーズに行い、なるべく英語を話す時間を多く取れるように、説明資料を英語と日本語を併記したり、タイマーを導入するなどの工夫を行った。

アンケート結果から、参加者から高い満足度が得られていることがわかる。やはり、実際の業務と関係があり、実践的な内容であることが、満足度の高い結果に繋がっていると考えられる。事前に準備をすることで、当日の内容がより理解できるようになることから、改善を加えながら、このような研修を続けていきたい。

【アンケート結果】 回答者 12 名（今回初めての参加 7 名）

研修の満足度



研修の良かった点をご記入ください

- ・研修中気を抜く時間がなく、英語を必死で考えられました。
- ・あらかじめ研修で行う内容を周知していただいていたので、十分な準備の時間を取ることが出来、その準備をしている間でも色々と気づくことができました。1時間半ほどの研修ですが、中身が非常に濃かったように思います。
- ・説明を受ける留学生の気持ちが理解できた点と無理にでも話しているうちに英語の話すことへの抵抗が減ったこと。
- ・英語で考え声に出す練習ができたこと、前準備の段階から論理的にまとめられたこと。
- ・日本語でもコミュニケーションでき、また、ウォーミングアップのおかげでリラックスして話すことができました。
- ・実践的で時間を区切っているところもメリハリがあって良い。最初のミニ講義、英語を話す5つのポイントが良かったです。
- ・事前のウォーミングアップで質問のしやすい雰囲気を作ってくくださった点/単語や文法を間違えても委縮しないで積極的に参加ができた点
- ・メモ用および予習用テンプレートをご用意いただいていたため、予習が大変スムーズでした。復習にも有効に活用できています。
- ・演者の資料提示について、主催者側でサポートがあったため大変助かりました(ipadで参加のため資料提示が困難なため)。
- ・研修で使用した資料に追記まとめいただいたものを後日PDFでメール送信していただいたことが大変ありがたいです。
- ・専門用語を使用した英語研修は初めてだったので、より業務に即して刺激になった
- ・少人数だったこともあり、臆せず話しやすかったと思います（回数が増えて先生のご負担

は大きいかと思いますが)。他の受講者の方々のお話も大変興味深いものでした。瞬発力が養われるミニ講座も楽しく、良い練習ができました。1時間ほどでこれだけ充実した内容を組んでくださってありがとうございました。

- ・参加者の人数が少なく発言しやすかった点、講師の方が明るく前向きであった点
- ・留学生とのやり取り練習になり、他の技術職員の方の業務で扱っている専門用語についても知ることができ、良かったです。

研修の改善点と要望をご記入ください

- ・企画していただいている技術職員の方々も、講師の先生もとても素晴らしいです。
- ・確実に自分の英語のスキルアップに役に立っているのですとずっと続けていきたいのですが、他にも希望者が多ければそういうわけにもいかないのかという点が心配です。コンスタントに続けていける研修があるとよいと思います。
- ・時間がもう少し長く取れるのであれば、雛形に沿ったロールプレイ等できれば良いかと思いました。職場内でイレギュラーな質問をされることは稀だと思うので、ケーススタディ?のようにすると役立つかもと思いました。
- ・事前資料とプレゼン資料について、例があると尚良いなと思いました。
- ・最初のミニ講義、英語を話す 5 つのポイントを資料としてお送りいただけないでしょうか
- ・自学に役立てようと感じたことになりましたが、機械の使い方説明に特化して、よく使う日本語表現(自分が英語表現が苦手な言い回しに)についてピックアップしておくのと良い感じでした。例えば、試料をその(容器, 台, etc.)の(上に, 横に, 中に, 下に, 向こう側に, etc.)セットする。などです。
- ・改善点は特に思い当たりませんが、また同様の研修を計画していただければ受講したいと思います。
- ・英語が出てこないときの対処の仕方
- ・特になし (4名)

今回の研修は業務にどのように役立ちそうですか?

- ・「場慣れ」の機会をいただきました。
- ・留学生への対応や、これから導入予定の遠隔対応の NMR を出来れば他国からの利用もできるように目指したいと思っているので、コンテンツを増やして内容を充実させていきたい
- ・明後日から機器の web 予約システムが変更になるため、多くの留学生が戸惑うこと必至です。早速英語で説明する機会が、それもたくさんありそうなので大いに役立つと思います。
- ・英語母語話者の学生さんはほとんどいないので、日本語、その方々の母語、英語を擦り合わせながらコミュニケーションをとることができそうです。

- ・英語のマニュアル作成を進めようと思いました。(やらなきゃな~と思って後回しになっているもののモチベーションが上がりました。)
- ・英語を話す心の壁が低くなりそうです
- ・装置や使用方法の説明時に相手が外国語話者であっても怖がらずに話を切り出せそう
- ・何度も何度も練習が必要です。ただし、対面、Web、現場での対応について、実際に現実に近い形でロールプレイできたので、これは本当に毎回大変自信になります。(喋れないのに自信が持ててます)
- ・マニュアルを読み上げるだけにならない取説の仕方を考えるきっかけになった
- ・受講後に、うまく言えなかったことや新しく知ったことなどのリストを作って復習してみました。自分の仕事に関する通りいっぺんの説明くらいは即座にすらすら話せると実際に役立てられる場面も増えると考えております。それに向けた努力をするモチベーションアップにつながっていると思います。
- ・留学生とのコミュニケーションなど
- ・留学生とコミュニケーションを取ることをはじめ、英会話自体の考え方が変わり、業務意欲が高まりました。

今回の技術英語研修の感想や、今後の技術英語研修に期待することなど、ご記入ください

- ・今回のような研修を何度も繰り返すことができると嬉しいです。
- ・今回のように業務に近い内容の英語研修は大学内で行っている英語研修でも設定が無かったので、非常に助かります。オーソドックスな内容であれば自分で英会話教室に行っているので何とかなるのですが、技術英語はなかなか教えられる講師がいないので貴重な機会だと思います。
- ・1h 弱ぐらいのあまり負担にならない時間で英語のフリートークがあってもよいかと思います。他大学の方と知り合えるのが楽しみのひとつなので。
- ・今回初めて参加しましたが、想像していた以上に楽しく時間を過ごしました。改善点とも重複しますが、研修での Q&A 等をまとめロールプレイ等をする機会があったら良いかと思います。
- ・この度は参加させて頂きありがとうございました。とても楽しく、良い刺激をもらいました。もっと勉強して再度参加(リベンジ?)させて頂きたいと思います。本研修のことを、自分は今まで知らなかったのもっと周知されて日本全国の多くの技術職員の方が活用されると良いなと思いました。私の会は、技術支援員の方も参加されていたので、もし支援員も参加可能ならば自分の知り合いの支援員の方にも紹介したいと思いました。
- ・他の同僚にも勧めたいと思います
- ・それぞれの装置を英語ではどのように表現するかという点において、大変興味深かったので、これからも様々な説明が聞けると嬉しいです。

・技術英語研修グループに期待するところは大変大きいです。それは、YouTube 配信です（最初は閲覧者限定(スラック登録者限定など)で配信)。5分から10分程度の動画作成をする（英語字幕(または日本語字幕)付き）。

- ・機器の予約受付編
- ・機器の取り扱い-サンプルセットアップ編
- ・機器の取り扱い-注意事項編 などなど

この動画を見ながらスピーキングトレーニングを繰り返す。※著作権法など考慮すべきことはあると思いますが、期待してしまいます。

・また参加させていただくことがあれば、全く自分が触れたことがない装置の回にも参加してみたいと思いました

・WG の皆様の意欲とご尽力にはいつも感謝しかありません。ご負担も大きいかとは思いますが、無理のない範囲で長く継続していただけることを期待しております。

・伝えること理解することに必要な大事なことを学びました。継続して英語学習をしたいと思える有意義な研修でした。ありがとうございました。

・スピーキングは、大学内の事務職員と同じ一般的な英会話研修に参加するだけでしたので、技術英語、特に機器説明のロールプレイングは大変良い練習になりました。今後も、技術英語研修の参加者が増えることを期待しております。